

札幌市を取り巻く財政環境と今後の見通し

- わが国の経済状況は、企業収益は過去最高水準にあり、雇用・所得環境の改善が続いて個人消費は徐々に改善していくと見込まれるほか、企業の設備投資も増加が見込まれるなど、景気は緩やかに回復していくと見込まれている。
- 札幌市の経済状況は、鉱工業の生産動向等で一部に弱い動きが見られるものの、個人消費、雇用情勢や観光客の動向等において改善傾向にあり、全体としては緩やかに持ち直している。
- 国は、平成 27 年 6 月 30 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2015」において、地方の一般財源総額を維持するとしている一方で、地方の活性化と頑張る地方を支援する仕組みへの地方交付税制度等の改革、国と地方を通じた歳出効率化に取り組むとしている。
- 札幌市の財政状況は、先ごろ公表した「まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015（案）」（以下、アクションプラン 2015 という）に掲げる中期財政フレームのとおり、扶助費の増や市債発行額の増による公債費の増など、今後も厳しい財政運営が見込まれる。さらに、歳出特別枠が廃止された場合の地方交付税の減等の不確定要素もあり、平成 28 年度の財政見通しは決して楽観視できないものと認識している。

アクションプラン 2015 における財政運営の基本方針

- 選択と集中をより一層明確化し、時代が必要とする施策に資源を配分する。
- 都市基盤の再整備や経済の活性化などに資源を重点配分し、税源涵養を通じた財政基盤の強化を図る。
- 中期財政フレームに沿った予算編成を行うことにより、収支全体はもとより、市債についても適切に管理。

平成 28 年度予算編成の基本的な考え方

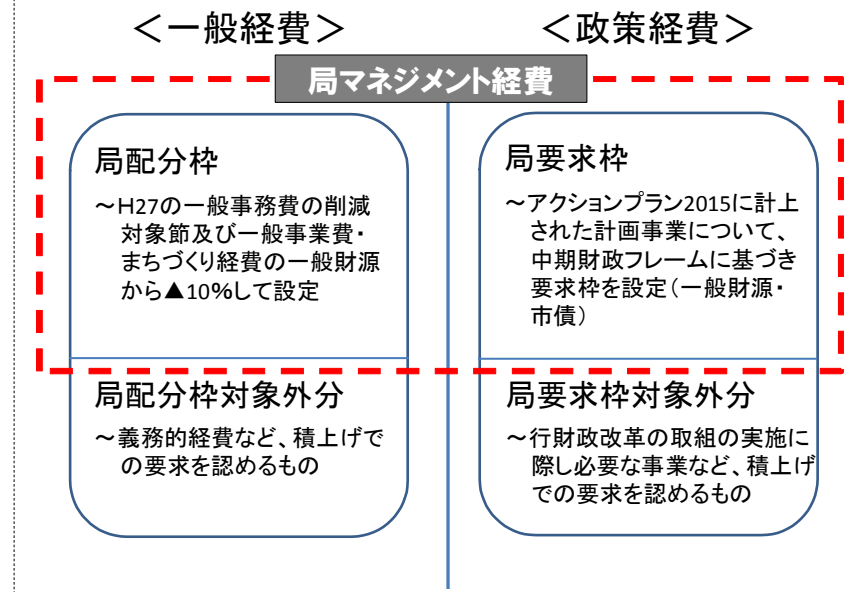
- 市長が初めて編成する本格予算であり、施政方針に掲げる「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」・「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の 2 つの未来のさっぽろの実現に向けた好循環へのスタートを切る予算編成を目指す。
- アクションプラン 2015 における「行財政改革の取組」の着実な実施により、中期財政フレームの財源を確保し「まちづくりの取組」を推進。
- 局マネジメント機能を強化し、アクションプラン 2015 の計画期間を通じた弾力的な事業運営や市民ニーズに即応した効果的な事業構築を可能にする。

予算編成方針のポイント

1 経費区分を再編

- アクションプラン 2015 における中期財政フレームを遵守し、計画化された事業を確実に実施することを目的として、経費区分を政策経費、一般経費に再編。
- アクションプラン 2015 において計画化された事業について、中期財政フレームに基づき一般財源、市債に局要求枠を設定。
- 計画対象外となった事業については、一般経費として、27 年度から▲10%のシーリングを行った額を局配分枠として設定。

【平成 28 年度予算編成における経費区分イメージ】



2 局マネジメント権限を強化

- アクションプラン 2015 における計画対象事業について、基本的に全対象事業を局要求枠とすることにより、局マネジメントによる事業構築を強化。
- 各局のマネジメントにより、アクションプラン 2015 における計画期間を通じた弾力的な事業運営や、市民ニーズに即応した効果的な事業構築を可能にするため、局マネジメント枠の年度間調整を可能とする。

3 事務事業の見直しを推進

- アクションプラン 2015 における行財政改革の取組を着実に実施するため、必要な経費については政策経費において積上げでの要求を認める。
- 各局において、新たに取り組む事務事業の見直しを促進するため、シーリング対象を除外とする経費を設定するとともに、局マネジメント枠に追加。

編成スケジュール

10/7 (水)	予算編成方針通知	1/中旬	市長査定
11/2 (月)	予算要求書提出期限	2/月上旬	予算記者発表
11/下旬	予算要求公開		